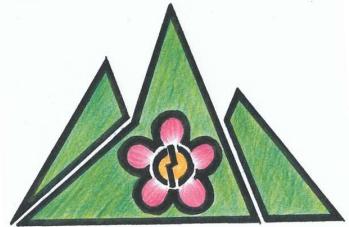


府中山の会だより

2024(令和6)年 2月

(敬称略)

編集 広報 山浦



◇山岳保険の確認、点検をお願いします。

「府中山の会」では、山岳保険の加入を入会条件としています。会員の皆様には今一度、山岳保険の期限切れ、保証内容の点検（遭難検査費用）などの確認をお願いします。

ご参考に日本山岳協会山岳共済会の連絡先を掲載します。直接お問い合わせください。

日山協山岳共済会山岳共済事務センター 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707

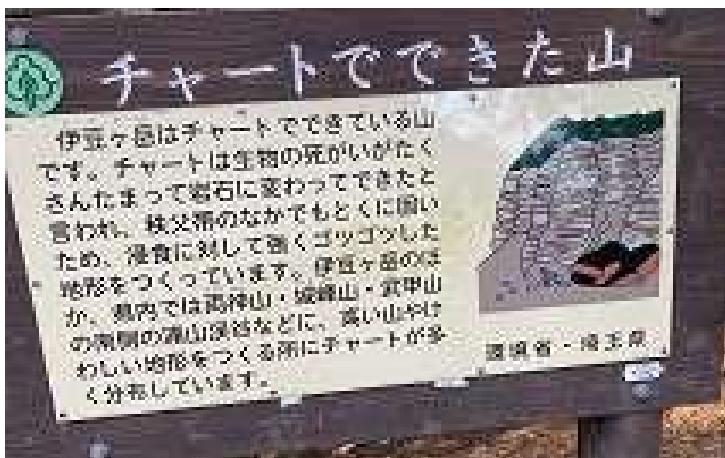
TEL 03-5958-3396 ホームページ <https://sangakukyousai.jp>

Eメールアドレス sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

◇山行記 第19回 伊豆ヶ岳(851m) 奥武藏 担当 平田律子 永沼典子

実施日 2023年12月16日(土) 男子7名 女子14 計21名 初級向け

山本 元美 記 伊豆ヶ岳は標高851m、出発地の正丸駅の標高が290mなので標高差は561mですが初級向けです。私にとっては4回目の山行、初めての秩父方面なので、府中本町駅から正丸駅までの路線図をプリントして準備。府中本町駅で岸波会長や山の会の皆さん方に合流できて、すっかり安心。心配された雨も、正丸駅に着くころにはあがり、山裾の白いもやがとても神秘的でした。正丸駅には予定通り8:26着。駅前の広場で準備体操を終えたころには、もやがすっかり消えて快晴になりました。8:40 いざ出発。舗装されている一般道路を20分程歩いたころには、12月とは思えない気温に皆汗だくで、上着や中シャツを脱いで一息つきました。山路に入り真っすぐ聳え立つ針葉樹林の間を黙々と登っていく頃には、さわやかな空気に包まれていました。正丸峠に到着、茶屋の側道が登山道で伊豆ヶ岳へと向かいましたが、ここからが最も難所でした!! 急な斜面に滑りやすい岩の状態、足が滑っても周囲に掴むものも見あたらない。一足また一足と足の置き場を慎重に探し、滑らないように、意識を集中してひたすら登る。斜面はますます急になり、最後は鎖がついている岩場、この一本の鎖に頼るしかない急斜面、女性でも軽々と登っていく先輩方の後ろ姿に、感嘆!・・・でした。11:30 伊豆ヶ岳山頂に無事全員たどり着く。12:00 下山開始。帰りは帰りで、道には落ち葉がいっぱい、油断をするとすぐに滑りそう、尚且つ、落ち葉に隠れている木の根っ子につまずきそうで、一歩一歩に細心の注意を注ぐ。諸先輩方の足取りは軽く早い、初級者にはまだまだ遠そうです。正丸駅へ、無事に帰着、地元の柚子とキューウイを購入して、13:58発 正丸駅を後にしました。





◇山行記 第20回 長瀬アルプス(宝登山ほどさん)497m 初級向け

実施日 2024年1月14日(日) 担当 栗原久美 中村匡子

中島 チドリ 記 今年初の山行は、お天気は最高。北斜面には前日の雪が残っていましたが、アイゼンを使うことなく注意しながら登った。山頂直下の200段の階段は、今日一番の難所で汗びっしょりで息も上がる。広々として武甲山や両神山など、眺めながらの昼食タイム。名所という蝦夷苑は、まだ数本の開花でした。近道しながら一気に下り、宝登山神社で解散。暖かく気持ちの良い楽しい山行でした。

香川 槇子 記 新しい年を迎えて初めての山行。風もなく太陽と青空の下に葉を落とした雑木林の中、ゆるやかなアップダウンの続く道を気持ちよく歩く。大変だったのは、宝登山直下の次々と現れる階段に息もあがり気味。今日一番の難所でした。山頂に着いた時は、達成感でいっぱい・・・。

眼下に秩父の町並みと幾重にも続く山々。眺望抜群で長瀬アルプスの名前通りでした。そこで開いたランチの味は格別です。ロウバイ園も黄色い花が咲き始め良い香りが。奥の院と下山後の宝登山神社と、お参りができていろいろお願いしてきました。今年も府中山の会が良い年でありますように



宝登山神社奥宮鳥居

